

## 8月21日：銀行・エネルギーセクターを中心にベトナム株は上昇

ベトナム株は水曜日に上昇、銀行、エネルギーセクターの大型株を中心に買いが集まり、南北両指数は上昇した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.99%上昇し994.38ポイントで取引を終えた。

同指数は火曜日に0.37%上昇し984.67ポイントで取引を終えていた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.03%上昇し103.01ポイントで取引を終えた。

同指数は火曜日に0.38%上昇し102.98ポイントで取引を終えていた。

両取引所合わせて、出来高は2億3360万株で、売買代金は7.4兆ドンであった。

ベトナム市場は不動産、保険、証券、エネルギー、銀行、飲食料、ゴム、建設、建設資材などのセクターが相場を牽引した。

それらの指数は0.03-2.67%ほど上昇した。

VN30指数も0.68%上昇し900.54ポイントで取引を終えた。

ベトコムバンク (VCB) (+4%)、ビンググループ (VIC) (+1.2%)、ペトロベトナムガス (GAS) (+2.1%)、ベトナム投資開発銀行 (BID) (+2.9%) などが大きく上昇した。

原油価格の上昇を受けて、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、ペトロベトナムドリリング (PVD)。ペトロベトナム溶液化学 (PVC)、ペトロベトナムガス (GAS) なども上昇した。

ブレント原油先物指数は29セント上昇し60.03ドルで取引された。WTI原油先物指数も13セント上昇し56.34ドルで取引された。

外国人投資家の買い越しも相場を支えた。ホーチミン取引所で1133.5億ドンの買い越しだった。CMCコーポレーション (CMG)、イディコクオントゥアン開発投資

(CTI)、マッサングループ (MSN) などに買いが集まった。ハノイ取引所では 590 億ドンの売り越しだった。

BIDV 証券によると、このままいけば VN 指数は今週中に 1000 ドルの節目を試しに行きたくらうとのことだった。

工業団地セクターが最近大きく上昇したため、利益確定圧力に苦しんでいる。キンバックシティ (KBC) (-1.6%)、ソナテジロンタイン (SZL) (-3%)、第二紅葉都市開発 (D2D) (-2%) などは下落することになった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。